2013年2月13日

2012年度 経済学部奨学論文の審査結果について

経済学部長
百田 義治
奨学論文委員会委員長
鄭 章淵

本年も多くの学生に奨学論文に応募していただきました。応募論文は43編でした。経済学部奨学論文委員会と多数の経済学部教員が審査に当たり、厳正な審査を行った結果、2012年度は以下のような審査結果となりました。

【審査結果】

1. 特選（1編）

佐々木 亮（現4）・内藤剛大（商4）
「リレーションシップバンキングの再定義 — 銚子信用金庫の地域振興支援事例から見る新しい意義 —」

2. 入選（5編）

- ① 塩田 彩乃（経4）
「高齢者犯罪の実態 — 貧困と孤立 —」
- ② 関口 貴大（商4）
「日本における地熱発電の可能性
— インドネシアとフィリピンから学ぶこと —」
- ③ 江原 伸太郎（商4）
「米国・韓国でのクレジットカード普及戦略
の検討による新日本版戦略の構築を目指して」
- ④ 小林 栞（商4）・矢野 真美子（商4）
「日本企業が長期的に地域に存続する要因と企業の長寿性との関係
— 千葉県銚子市の醤油醸造業の事例を中心に —」
- ⑤ 神山 祐美子（商3）・菅原 祥太（商3）・前田 理恵（経3）
「アニメの聖地巡礼による訪日外国人獲得の可能性」

3. 佳作（9編）

- ① 石澤 諒（商4）・川島 祥太（現4）
「再生可能エネルギー事業の地方都市モデルは成立するか
— 環境都市型の内発的発展論 —」
- ② 木村 安希子（商4）
「川越織物に関する研究」
- ③ 西塚 淳（商4）
「欧州経済危機についての一考察 — スペインに焦点を当てて—」
- ④ 楠 功央（商4）
「日本における社会的企業論の現状と展望」
- ⑤ 藤井 恵（現4）
「CSVによる企業価値向上 — 従来の「CSR」からの脱却 —」
- ⑥ 李 和樹（経4）
「チェボル企業が韓国経済にもたらした恩恵と弊害」
- ⑦ 柴田 瑠美音（商4）
「日本における楽器産業の変遷— 鍵盤楽器を中心に —」
- ⑧ 山崎 裕介（現4）
「北欧諸国に見る社会福祉と就労インセンティブ」
- ⑨ 牧野 亜紀（商3）・反町 晃一（商3）・田中 大紀（商3）
「まちづくりにおける地域金融機関の役割
— 老舗企業と地域ブランド融合によるまちづくり —」

以上

特選および入選となった論文には賞状と記念品を、佳作となった論文には賞状を下記の要領でお渡しします。複数で応募・受賞した論文には各人に賞状をお渡しします。複数で応募・受賞した入選論文の記念品は代表者にお渡しします。

- 4年生：卒業式に卒業証書の授与会場でお渡しします。
- 3年生および2年生：4月のゼミの時間にお渡しします。